

医師の異動（12月）

■着任（令和4年12月1日付）

外科部長 林 雪（りん せつ）

■退職（令和4年11月30日付）

ありません

びょういんの参観日を開催しました！

病院の紹介や様々な体験を通じて、病院を身近に感じてもらい、未来の医療関係者を育てることを目的としたイベントであるびょういんの参観日を、令和元年以来、3年ぶりに開催しました。

今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小しての実施となりましたが、当日は天候に恵まれ、延べ250人ほどのお客様にお越しいただきました。

病院見学ツアーでは、事前に予約いただいた親子17組にご参加いただき、普段は入れない手術室や放射線技術科等を見学していただきました。

体験ブースでは、ヘルスケア研究センターでミニ健診、リハビリテーション技術科でリハビリ・作業療法による革細工制作、薬剤科でお菓子を薬に見立てた調剤、医療安全管理室で汚れがブラックライトで分かる手洗い等、様々な体験ができる催しを実施しました。

また、栄養科やかかりつけ医制度の紹介、がん対策のメッセージカード作り、当院院長が寄稿したコラム等をご覧いただける展示スペースも設けました。

限られた時間ではありましたが、盛況の内に終えることができました。

これからも、地域の皆様に親しまれる明るくやさしい安心できる病院を目指してまいります。



作業療法による革細工（ストラップ）

第325回 開放型病床生涯教育研修会を開催します

日時：令和5年1月12日（木）17：30～19：00

テーマ：「0次健診を市立長浜病院で実施するにあたって」（仮）

講師：松田 文彦 氏 京都大学、大学院医学研究科

附属ゲノム医学センターセンター長

会場：市立長浜病院 本館2階 講堂

申込み：FAX またはメールでお申し込みください。

※申し込み方法等は、別添の開催チラシをご参照ください。

※感染対策を十分に講じて開催し、会場での参加は先着30名とさせていただきます。

※Zoomでの参加も可能です。

※日本医師会生涯教育制度指定講習会として申請。

※新型コロナウイルス感染症の拡大の推移により、開催方針に変更がある場合は速やかにご案内いたします。

お知らせ

■ 年末年始の地域外来・検査センター（PCR検査センター）について

年末年始の地域外来・検査センター（ドライブスルー検査）は、湖北医師会登録医と長浜米原休日急患診療所からの検査依頼について次のとおり検査を実施しますのでお知らせします。

実施日時 令和4年12月29日（木）・令和5年1月3日（火） 14：00～

依頼方法 検査当日の12：30までに地域医療連携室へ「診療情報提供書」（地域外来・検査センター専用）をFAX送信してください。

市立長浜病院 地域医療連携だより 令和4年12月1日号 No.213

理念
地域住民の健康を守るため、
「人中心の医療」を発展させ、
地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
患者総合支援センター 地域医療連携室
〒526-8580 長浜市大茂亥町 313 番地
TEL：0749-65-2720
FAX：0749-65-2730
http://www.nagahama-hp.jp/



救急告示病院
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院
厚生労働省臨床研修指定病院
周産期協力病院
地域医療支援病院

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。12月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

当院の神経内科診療について

神経内科責任部長 小川 雅文

神経内科は以前から誤解されることの多い診療科です。神経内科、脳神経内科、神経科、精神科、精神神経科、心療内科とよく似た診療科があり、どの疾患が専門なのかよく間違われます。脳神経内科は神経内科が精神疾患ではなく器質性疾患を対象とする科であることを明示するため学会から推奨された名称です。従って、脳神経内科＝神経内科です。精神科等がこころの病を対象とするのに対し、中枢神経（脳・脊髄）、末梢神経、筋の疾患を対象とします。具体的な疾患としては、比較的多い脳梗塞や頭痛からよく話題になる認知症、てんかん、パーキンソン病といったもの、さらに多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、末梢神経障害、筋炎・筋ジストロフィーなどなど10万人あたり数百人の有病率の疾患から100万人に1人、日本国内に数人程度の疾患まで多岐にわたります。

ではどういった症状や患者を当科に紹介いただければよいのでしょうか？これは一言で答えるのは不可能な難問です。目安として1）脳の疾患：意識障害、物忘れなどの認知症、動きが悪い・歩行時のふらつき、ふるえなどの不随意運動の運動症状（小脳症状を含む）、2）脊髄の疾患：四肢あるいは両下肢の運動障害、レベルのある（特定の高さから下位にみられる）感覚障害、3）末梢神経障害：一般には遠位優位の運動や感覚の障害、4）筋の障害：筋力低下・強い筋痛 5）発作性の疾患：てんかん、一過性の意識障害、頭痛といったところでしょうか？眼科的な症状も神経内科疾患の可能性もあります。複視、眼瞼下垂、視力低下、頭痛のない閃輝性暗点などが主なところですが、なお、脳梗塞や脳出血を疑うような場合はなるべく早く、救急外来を受診することが肝要です。これまでできていた日常生活の一部ができない、難しくなってきた場合、上記に照らし合わせて神経内科疾患の可能性をご考慮ください。逆に当院には精神科がないので明らかな精神疾患や徘徊などのための閉鎖病棟による管理が必要な入院については全く対応できません。

当院神経内科は常勤医師一名に非常勤の外来医師で構成され、外来は平日毎日（休診の場合あり）診療しております。MRI、CT、RI検査の画像検査、脳波、神経伝導検査・筋電図などの電気生理検査も随時検査可能で一般臨床ではPET以外の検査をほぼ網羅しています。通常入院診療以外に認知症ケアでも主にせん妄対策にかかわっています。

できる限り早く、いつもの笑顔に戻るためのお手伝いをしています

認知症看護認定看護師 山本 理恵

当院に看護師として勤務し、入院によって認知機能の低下をきたしてしまう患者さんをケアしたいという思いで2018年に認知症看護認定看護師になりました。私が当院で行っている活動の一つに「認知症ケアチーム（以下、チームと表現します）」があります。入院によりせん妄や元々から有している認知症の症状がさらに悪化したり、慣れない環境でいつも通りに日常生活を送れなくなったりすることでこれまでよりも介護が必要な状態になってしまうことを回避できるよう、チームが早期に対応するシステムです。

チームのメンバーは認知症に係る専門知識を有したスタッフ（専任の医師、認知症看護認定看護師、社会福祉士、薬剤師、公認心理師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士）により構成しており、週1回全病棟をラウンドしてせん妄や認知機能低下の悪化を予防するケアアドバイスを始め、症状マネジメントとしての薬剤調整、リハビリ、カウンセリングなどを行い、病棟で診療に当たるスタッフのサポートを行っています。

チームでの活動以外にも、院内の看護職員に対して定期的に認知症ケアの研修会を開催したり部署単位で事例に応じた学習会を行ったりしながら院内全体の知識と実践力の底上げを行っています。これらの活動によりせん妄や認知症の諸症状について病棟スタッフがより積極的にケアに取り組むことができるようになってきています。また、入院当初は不安そうな表情をされていた患者さんが次のラウンドでは笑顔でご挨拶して下さるなど安心して生活できる環境を提供することができるようになってきています。

他にも、認知症に関する家族相談や、長浜市の認知症初期集中支援事業等にも加わり地域における活動も行っています。医療、福祉関係者の方は、現在入院されていない方でも、認知症について気になることや日常生活の困り事などがあれば当院地域連携室までお知らせ下さい。



当院での院内デイケア活動について

介護福祉士 認知症ケア専門士 中嶋 健吾（療養2階病棟）
田部 一順（回復期RH病棟）

当院では認知症対策委員会の活動の一環として「院内デイケア」を開催しています。「院内デイケア」とは、入院生活をされている患者様のストレスの軽減、気分転換を目的とした活動で、生活リズムの調整や意欲の向上につながるレクリエーション療法のひとつです。簡単に説明すると、院内でデイサービスを行っているような活動となります。

認知症対策委員会では、「加算」「学習会」「院内デイ」3つのグループに分かれて活動しており、「院内デイグループ」が中心となって開催病棟の協力を得ながら活動しています。

当院で院内デイケアを開催するようになって今年で4年目となりますが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、規模や回数を検討しながら年間計画を立て活動内容を企画しています。

院内デイケア開催するまでには、事前に企画会議を行い、参加される患者様の情報共有、開催内容を検討します。開催内容を決定した後、タイムスケジュールを作成し、準備物、役割分担、感染対策の確認等を行い、スムーズな院内デイケア活動の運営が図れるように準備を行います。

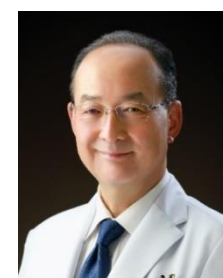
今年度は、現在までに7月に療養病棟、10月に回復期リハビリ病棟で開催することができました。各病棟デイルームにて季節の野菜や植物を用意し、直接触れていただくことで季節を感じてもらったり、触れている野菜や植物を使用した料理や育て方を思い出して語り合う回想法を主に行いました。患者様の気分転換や懐かしい思いを感じていただくことができたとともに、スタッフからは普段とは違う患者様の姿が見られてよかった等の意見も聞かれました。

今後は、開催回数、対象病棟を増やし、他患者との交流が増え入院生活に少しでも刺激が与えられる様な取り組みができればと考えています。



クラウドファンディングにご協力ください！

市立長浜病院 院長 高折 恭一



平素より当院の運営につきまして格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

当院は、平成17年から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けており、安全安心で質の高いがん治療の提供、がん患者さまやそのご家族の身体的・精神的なサポートができるよう診療体制・相談体制を整え、日々患者さまに寄り添い続けています。

さて、がん放射線治療は、手術、薬物療法（抗がん剤治療）、と並ぶがんの3大治療法の1つとされています。当院では、平成20年から稼働している現行機のがん放射線治療装置（リニアック）により、これまで多くのがん患者さまの治療にあたってきました。

今後も地域のがん拠点病院として、「からだに負担の少ないがん治療」の一つとして患者さまの治療にあたっていくため、「リニアック更新整備事業」を実施します。導入以来15年近く経過している現行機を令和5年度に最新鋭の装置更新と、放射線治療用診察室の増設等工事を予定しており、これにより、高精度放射線治療が当院で継続して可能となります。

同事業は、病院に数多くある医療機器の中でも特に高額なものの更新や、患者さまにより一層の快適な治療環境を提供すべく診察室等の増設工事をするもので、令和3年度からその準備を進めてきましたが、当院の厳しい財政状況を踏まえると少しでも皆様のお力添えを賜りたいと考えています。

今後も滋賀県湖北地域の基幹病院としての役割を果たしていくため、多くの皆様方からの温かいご支援をいただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

※クラウドファンディングの詳細は、添付の趣意書・PR用チラシをご覧ください。

市立長浜病院がクラウドファンディング挑戦中！

湖北のがん治療を支える！
～放射線治療装置の更新整備事業を実施します～

【更新予定装置】
2022 Varian Medical Systems, Inc.

目標金額 1,000万円
令和4(2022)年
12月25日(日)まで

本館1階
放射線治療センター
放射線治療用診察室
増設等工事(赤部分)